

平成30年度 保護者アンケート【集計】

	学年 質問	1年生				2年生				3年生				全学年				1年生 平均値	2年生 平均値	3年生 平均値	全体 平均値
		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1				
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	15	50	3	0	12	41	18	2	16	34	5	0	43	125	26	2	3.18	2.86	3.20	3.07
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。	19	43	6	0	31	38	3	1	20	30	5	0	70	111	14	1	3.19	3.36	3.27	3.28
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。	9	45	12	2	25	39	9	0	9	36	10	0	43	120	31	2	2.90	3.22	2.98	3.04
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。	11	29	27	1	25	30	16	2	15	22	18	0	51	81	61	3	2.74	3.07	2.95	2.92
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	32	35	1	0	27	33	11	2	28	24	3	0	87	92	15	2	3.46	3.16	3.45	3.35
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。	34	33	1	0	38	30	4	1	30	22	3	0	102	85	8	1	3.49	3.44	3.49	3.47
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。	31	35	2	0	35	32	6	0	24	30	1	0	90	97	9	0	3.43	3.40	3.42	3.41
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	13	47	6	1	27	31	11	4	12	33	9	1	52	111	26	6	3.07	3.11	3.02	3.07
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	25	36	6	0	35	34	3	1	29	25	1	0	89	95	10	1	3.28	3.41	3.51	3.39
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。	27	37	3	1	36	34	3	0	31	23	1	0	94	94	7	1	3.32	3.45	3.55	3.43
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。	15	45	7	0	34	33	5	1	28	22	5	0	77	100	17	1	3.12	3.37	3.42	3.30
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	20	45	2	0	31	37	3	2	22	30	3	0	73	112	8	2	3.27	3.33	3.35	3.31
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	25	39	4	0	34	34	4	0	25	29	1	0	84	102	9	0	3.31	3.42	3.44	3.38
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。	22	46	0	0	43	25	4	1	24	27	4	0	89	98	8	1	3.32	3.51	3.36	3.40
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	31	32	5	0	26	39	6	1	25	27	3	0	82	98	14	1	3.38	3.25	3.40	3.34
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	38	28	2	0	25	43	3	2	28	26	1	0	91	97	6	2	3.53	3.25	3.49	3.41
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	45	22	1	0	25	35	9	4	26	20	1	0	96	77	11	4	3.65	3.11	3.53	3.41
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。	23	37	7	0	4	23	7	1	16	26	4	1	43	86	18	2	3.24	2.86	3.21	3.14
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	21	41	5	1	9	18	6	2	15	25	7	0	45	84	18	3	3.21	2.97	3.17	3.14
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	15	45	8	0	3	19	10	3	13	25	9	0	31	89	27	3	3.10	2.63	3.09	2.99

平成30年度 保護者アンケート【年度比較】

質問	入学年度	平成28年度			平成29年度		平成30年度
	学年	1年次 (H28)	2年次 (H29)	3年次 (H30)	1年次 (H29)	2年次 (H30)	1年次 (H30)
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	3.09	3.08	3.20	3.17	2.86	3.18
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。	3.27	3.29	3.27	3.18	3.36	3.19
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。	2.93	2.84	2.98	2.77	3.22	2.90
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。	3.03	2.79	2.95	2.77	3.07	2.74
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	3.54	3.24	3.45	3.40	3.16	3.46
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。	3.50	3.55	3.49	3.48	3.44	3.49
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。	3.45	3.26	3.42	3.33	3.40	3.43
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	3.09	3.00	3.02	2.93	3.11	3.07
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	3.59	3.32	3.51	3.49	3.41	3.28
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。	3.43	3.43	3.55	3.39	3.45	3.32
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。	3.35	3.22	3.42	3.22	3.37	3.12
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	3.36	3.21	3.35	3.29	3.33	3.27
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	3.43	3.39	3.44	3.50	3.42	3.31
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。	3.45	3.32	3.36	3.50	3.51	3.32
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	3.49	3.29	3.40	3.50	3.25	3.38
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	3.51	3.45	3.49	3.51	3.25	3.53
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	3.60	3.24	3.53	3.56	3.11	3.65
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。	3.27	3.05	3.21	3.16	2.86	3.24
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	3.03	2.95	3.17	3.04	2.97	3.21
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	3.10	2.95	3.09	3.01	2.63	3.10

平成30年度 保護者アンケート【全体グラフ】

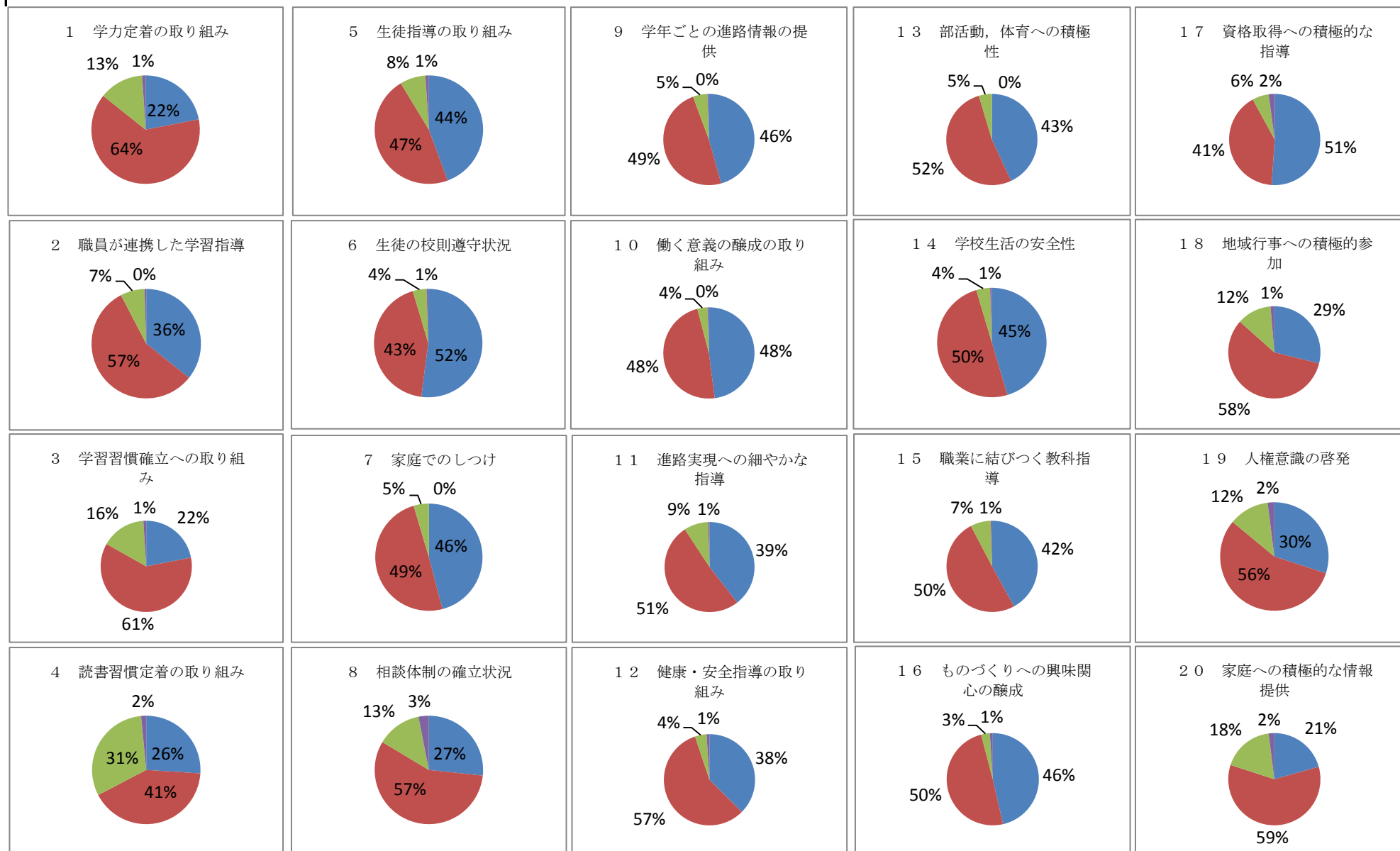
	学年 質問	1年生				2年生				3年生				全学年				1年生 平均値	2年生 平均値	3年生 平均値	全体 平均値
		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1				
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	15	50	3	0	12	41	18	2	16	34	5	0	43	125	26	2	3.18	2.86	3.20	3.07
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。	19	43	6	0	31	38	3	1	20	30	5	0	70	111	14	1	3.19	3.36	3.27	3.28
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。	9	45	12	2	25	39	9	0	9	36	10	0	43	120	31	2	2.90	3.22	2.98	3.04
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。	11	29	27	1	25	30	16	2	15	22	18	0	51	81	61	3	2.74	3.07	2.95	2.92
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	32	35	1	0	27	33	11	2	28	24	3	0	87	92	15	2	3.46	3.16	3.45	3.35
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。	34	33	1	0	38	30	4	1	30	22	3	0	102	85	8	1	3.49	3.44	3.49	3.47
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。	31	35	2	0	35	32	6	0	24	30	1	0	90	97	9	0	3.43	3.40	3.42	3.41
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	13	47	6	1	27	31	11	4	12	33	9	1	52	111	26	6	3.07	3.11	3.02	3.07
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	25	36	6	0	35	34	3	1	29	25	1	0	89	95	10	1	3.28	3.41	3.51	3.39
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。	27	37	3	1	36	34	3	0	31	23	1	0	94	94	7	1	3.32	3.45	3.55	3.43
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。	15	45	7	0	34	33	5	1	28	22	5	0	77	100	17	1	3.12	3.37	3.42	3.30
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	20	45	2	0	31	37	3	2	22	30	3	0	73	112	8	2	3.27	3.33	3.35	3.31
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	25	39	4	0	34	34	4	0	25	29	1	0	84	102	9	0	3.31	3.42	3.44	3.38
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。	22	46	0	0	43	25	4	1	24	27	4	0	89	98	8	1	3.32	3.51	3.36	3.40
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	31	32	5	0	26	39	6	1	25	27	3	0	82	98	14	1	3.38	3.25	3.40	3.34
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	38	28	2	0	25	43	3	2	28	26	1	0	91	97	6	2	3.53	3.25	3.49	3.41
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	45	22	1	0	25	35	9	4	26	20	1	0	96	77	11	4	3.65	3.11	3.53	3.41
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。	23	37	7	0	4	23	7	1	16	26	4	1	43	86	18	2	3.24	2.86	3.21	3.14
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	21	41	5	1	9	18	6	2	15	25	7	0	45	84	18	3	3.21	2.97	3.17	3.14
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	15	45	8	0	3	19	10	3	13	25	9	0	31	89	27	3	3.10	2.63	3.09	2.99

凡例



4：よくあてはまる  
2：あまりあてはまらない

3：ややあてはまる  
1：まったくあてはまらない



(参考資料)

平成30年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	教務	教務	86%の保護者が「あてはまる」と回答しており、概ね授業内容や指導方法に共感をいただいていると思われる。しかし、2年生の平均値が2.86と他学年と比べて極端に低いこと、2年生の保護者20名（1年生は3名、3年生は5名）が「あてはまらない」と回答していること理由を検証し、来年度へ向けて改善していく必要がある。また、約80名の未回答（未提出）者はどちらかということ子どもの学校生活、学習状況に関心が低いと思われるので、評価が高値であることは考えにくい。なお、年次進行的には、評価が向上していく傾向にあるので、学校の取り組みや生徒の学習の様子などを保護者に情報提供し、問題点を共有できるような体制づくりが必要と考える。
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。			「あてはまる」との回答が昨年度は89%であったが、今年度は93%となった。未回答者分の評価を推測すると、向上したと言える結果ではないと思われる。ただし、評価の平均値は学習に関連するその他の項目（1, 3, 4の質問）よりも高値であることから、出工タイムでの「マナトレ」や3年生への一般常識、SPIの対策問題など学年や校務分掌間での連携した取り組みはある程度、理解していただいていると思われる。
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。			「あてはまらない」との回答が、前年度29%であったが、今年度は17%と向上した。ベネッセの学習力調査（1日あたりの学習時間）の結果において、1年生の38%、2年生の56%、3年生の65%が「学習しない」と回答しており、経年変化のデータではないものの、上位学年ほど「学習をしない」割合が増えていることは、学校の取り組みが効果的でないという厳しい考え方ができるのではないかと。また、「学習習慣の確立」＝「自発的な家庭学習」と考えれば、保護者が生徒の学習状況（資格試験、課題など）を十分に把握して、家庭での保護者による積極的な学習習慣づけ指導も必要である。保護者に対しても、子どもの将来の進路実現と学習習慣の関係性などを理解してもらうような啓発活動が必要と思われる。
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。		図書・研修	「よくあてはまる」「あてはまる」と回答したのは約7割の保護者だった。評価平均値は2.92であった。朝読書の取り組み、図書委員会の活動や図書館の雰囲気作りなどは外部に伝わりにくいことであるので、やむを得ない評価であると思われる。もともと読書習慣をもたない生徒に一人でも多く、読書の素晴らしさを伝える活動を地道に続けていくことが大切である。
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	生徒指導	生活指導・交通指導	2年生が突出して「あてはまらない」という項目が高い。2年生の個々のクラスの状況がどうか？各クラス平均してのものなのか、あるクラスで突出しているのか。学年団や担任団とも協力しながら、マナー向上のための指導を充実させる必要がある。
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。			頭髪服装の初回合格の数を考えると、全学年とも保護者の協力のもと毎月整髪している。生徒のアンケート結果と比較すると、保護者はしっかりと守らせたいが、一部の生徒が自らの意思で守ろうとしていないのではと伺える。他の項目にもつながるが、学校の取組を事前に保護者に連絡するとともに、共通理解・共通実践を通じてマナーの向上に努めたい。
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。			有難いことに、各家庭でしっかりと指導していただいている。生徒・保護者へも、より理解しやすい規定とするとともに、学校・家庭が共通理解のもと指導ができるよう改善していきたい。

(参考資料)

平成30年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	生徒指導	教育相談	保護者の8割が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しているが、「まったくあてはまらない」という回答が3%、「あまりあてはまらない」という回答が13%あった。この質問については「あてはまらない」と答える家庭が少しでもあれば、相談体制の見直しを行い、生徒・家庭にとって相談しやすい環境をつくる必要があると考える。加えて、引き続き、SC来校日の周知や家庭との密な連携に努めたい。
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	進路指導	進路情報	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年度並みの95%と高い状況だった。ただし、「よくあてはまる」という評価に関しては前年度比2ポイント減の46%になっており、進路情報提供の手段や内容の質の改善が必要である。
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。		進路相談	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年度並みの96%と高い状況だった。昨年度から進路ガイダンスに加え、地元企業魅力説明会などを実施しているが、それらの実施が評価につながっていると思われる。
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。		進路相談	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価については、前年度並みの92%と高い値を示しているが、1年生の「よくあてはまる」という評価に関しては、22%と特に低い状況になった。進路指導部とクラス担任並びにクラス担任と家庭との連携の強化が必要である。
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	保健	保健	肯定的な評点が95%であり、昨年度と同等の結果となった。一方で昨年度は0人であった「まったくあてはまらない」という回答が2人に増えていた。生徒への健康・安全指導は、検診や治療またはその予防をするうえでも保護者の理解と協力が不可欠である。今後はより一層、意見交換の場をもつなど、学校協力体制を築く場が必要である。
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。		体育指導	肯定的な評点が95%であった。「まったくあてはまらない」という回答は昨年に引き続き0人であった。生徒アンケートでも大部分が肯定的であったので、保護者の方々も、生徒の心身の成長を感じての授業や部活動、体育的行事への評価だと思う。今後も全職員で、生徒の体力の維持、向上のための指導を継続して行っていく必要がある。
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。		安全指導	肯定的な評点が、昨年度より3%減の95%であった。学校職員による環境整備や安全点検により、例年高い評点ではあるが「あてはまらない」「まったくあてはまらない」という回答が増えたことは看過してはならない。さらなる環境整備の徹底や、危険箇所の点検はもちろん、生徒や保護者が「安全ではない」と感じる点はどこか、意見を出しやすい環境づくりも必要である。

(参考資料)

平成30年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	各学科	建築	進路実現を考えたときに、専門企業だけではなく他業種への取り組みも行っていることで満足はされていると思う。
			機械電気	将来をイメージすることができるかの平均は1・2・3年生・全体平均値より、0.1ほど高い値であり質問全体の平均値よりも0.2ほど高い。また、全体の平均値でも高い数値である。これより将来に結びついている教科指導を行っている評価を頂いていると思う。現状を維持するためにも、研鑽し授業に取り組むことが大切であると思われる。
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	各学科	建築	実習やものづくりを通して、形になっていく喜び、達成感を話すことで概ね満足しているのではないかと。
			機械電気	ものづくりへの関心の平均値は、1・2・3年生・全体平均値と高い値であり、全体の中でも高い平均値である。さらに、ものづくりへの興味関心が高まるように実習内容を充実し、地域へアピールすることが大切であると思う。
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	教務	学習検定	93%の保護者が「あてはまる」と回答しており、保護者も学校で行っている補習等の取り組みを知っているようである。ただし、1年：3.65、2年：3.11、3年：3.53と、2年生だけ低い値を示しており、年度比較でもH28入学生1年次：3.60、2年次：3.24、3年次：3.53と同じ傾向を示している。質問1, 18, 20でも同じように2年生の評価平均値だけが低い傾向があり、2年生の活動全般を情報提供、共有していく必要があると思われる。
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。		教務	87%の保護者が「あてはまる」と回答していることから、大産業祭を始めとした地域行事への参加やポスター掲示、出工たよりの頒布活動などの積極的な学校PRを行っていることを認知しているようである。この質問は、保護者が実際に学校のPR活動を見聞きしている結果だと考えると、やはり2年生の他学年と比べての評価平均値の低さ（1年生3.24、2年生2.86、3年生3.21）が気になりとなる。
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	教務	人権同和教育	今年度はまったくあてはまらないという解答が2%あった。また、「あまりあてはまらない」という回答が12%であった。本校は人権同和教育推進校ということもあり年3回以上の研修やLHR等を実施しているものの、保護者には見えにくい部分があるのではないかと。今後もしっかりと人権・同和教育を継続し、生徒が正しい人権意識を持てるように「事実と実践」をしっかりと積み上げていくことがなによりも大切だ。そうすることで保護者の学校へのとらえ方も自然に変わるのではないかと考える。
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。			保護者のうち、80%が「あてはまる」と回答しており、学級通信や各種たよりの発行物がある程度は届けられ、有効に活用されていることがうかがえるが、2年生の他学年と比べての評価平均値の低さ（1年生3.10、2年生2.63、3年生3.09）が気になりとなる。生徒便による従来の方法で届かない家庭は固定化されていると思われるので、スマホの普及、ICTの高度化を考え、学校HPや学校ブログなどを用いて、生徒を介さない情報発信も充実させていく必要があると思われる。